

香取市水道事業公営企業会計システム更新に係る基本仕様書

1 目的

香取市水道事業会計及び香取市簡易水道事業会計（以下「水道事業会計」という。）において、現在稼働している公営企業会計システム（日次、月次等執行関連、予算関連、決算関連、固定資産関連、企業債関連のソフト及びこれらを運用するためのハード一式をいう。以下「システム」という。）の使用及び保守が令和6年度末で終了するため、地方公営企業会計制度に準拠するシステムの更新について受託者から提案を受け、水道事業会計事務を円滑に処理することを目的とする。

2 システムの範囲

(1) パッケージソフト

- ① 公営企業会計全般（執行関連（日次、月次等）、予算関連、決算関連）
- ② 固定資産管理全般
- ③ 企業債管理全般

(2) ハード

- ① サーバー1台
- ② クライアント2台
- ③ モノクロプリンタ1台

3 システムの稼働時期

本件の契約期間は、契約締結の日から令和12年3月31日までとする。

ただし、システムの使用期間は令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（60ヶ月）とし、システム運用に必要な保守等についても含むものとする。

なお、システムの本稼働は令和7年4月1日からとし、本稼働前ひと月を試験運用期間とし、旧システムとの並行稼働を行う。なお、令和6年度決算については、旧システムで行うが、新システムで行うことを妨げない。

本稼働までに必要な職員研修等を実施し、職員が支障なく操作できるようにすること。また、本稼働後における運用期間においても同様とする。

4 全般

- ・地方公営企業会計制度に対応し、地方公営企業法、同法施行令、同法施行規則等の法令等に基づいたシステムであること。
- ・法令、規則等の改正等があった場合には、速やかに対応できること。
- ・今契約期間中に水道事業と簡易水道事業（旧栗源地区）の統合を計画していることから、これらの統合時には水道事業会計において、旧2事業体単位での入出力及び合算値の表示・出力ができるように対応すること。

- ・今回導入するシステムは、地方公共団体向けシステムのパッケージソフトを使用する。
- ・システムデモは、別紙1「システムデモ実施要領」に従い実施すること。
- ・科目管理は、1科目最低5階層とすること。（「款」「項」「目」「節」「細節」）
- ・科目ごとに、旧地区区分、消費税区分が管理できること。
- ・全ての出力帳票は、プレビュー機能、PDF、CSV または Excel 出力機能を備え、Excel を用いて加工・修正・編集ができること。
- ・システム入替の際に、新規に導入するシステムにインポートするためのデータのエクスポートが容易にできること。
- ・予算科目、勘定科目は、年度途中においても追加、変更ができること。
- ・伝票入力において、予算科目の入力に伴い、勘定科目、消費税区分等が自動で表示されるようにすること。また、各入力事項は、手動で変更もできること。
- ・消費税率の変更等（インボイスの経過措置による対応を含む）による改修は、無償で対応すること。
- ・WEB環境で動作するシステムであること。
- ・システム稼働後は、訪問及びリモートによるサポートが可能であること。
- ・常に最新の状態となるようにシステムのバージョンアップを行うこと。
- ・伝票、帳票等において、年度間のデータの移行処理が発生する場合には、受託者が直接作業すること。
- ・ハードウェア機器の搬入設置及び現地調整を行い、システムが本稼働するまでに必要な作業を行うこと。
- ・操作及びシステムに関する問い合わせ等に対する運用、管理サポート全般について迅速に対応すること。また、システムの操作方法に付随する経理の処理方法や実務内容の問い合わせに対しても、地方公営企業会計制度に精通したスタッフにより、適切な助言等、必要に応じた支援を行うこと。
- ・データのバックアップを定期的に行い、障害発生時は、迅速な復旧支援を行うこと。
- ・必要な保守を実施すること。
- ・情報セキュリティ対策は、「香取市情報セキュリティポリシー」に準拠し、その内容と整合性を取る。なお、セキュリティポリシーは非公開の部分があるため、総務省が公表している「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を参考に詳細は双方で協議のうえ、セキュリティ対策を施すこと。
- ・サーバー及びクライアントにコンピューターウイルス対策ソフトを導入し定期的に更新するなど、コンピューターウイルス対策を十分に行うこと。
- ・この仕様書に記載されていない事項については、双方で協議の上、定めるものとする。

5 機器仕様に関すること

提案するシステムは、余裕をもって安定稼働するスペックを前提とし、5年間の使用に十分耐えうる機器を導入すること。

(1) サーバー機器

筐体	タワー型
台数	1台
OS	Windows Server 2019 Standard 以降
CPU	Xeon プロセッサE 3.5GHz 以上 4コア以上
メモリ	8GB 以上
HDD	SSD240GB×2 以上 (RAID 構成とする)
内蔵ドライブ	DVD-ROM 以上
無停電電源装置	1000VA 以上
その他	ディスプレイ (17型以上)、キーボード、光学式マウス、電源管理ソフト等その他運用に要するものを具備すること

(2) クライアント機器

筐体	タワー型
台数	2台
OS	Windows11 Pro
CPU	Intel Core i7 同等以上
メモリ	16GB 以上
HDD	SSD 512GB 以上
内蔵ドライブ	DVD-RAM 以上
その他	ディスプレイ (23型以上)、キーボード、光学式マウス等その他運用に要するものを具備すること

(3) モノクロページプリンタ

台数	1台
印刷方式	半導体レーザー+電子写真方式
解像度	2400dpi 相当
印刷速度	片面 A4 30.0枚/分以上
両面印刷	標準対応
対応用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5に対応していること
その他	